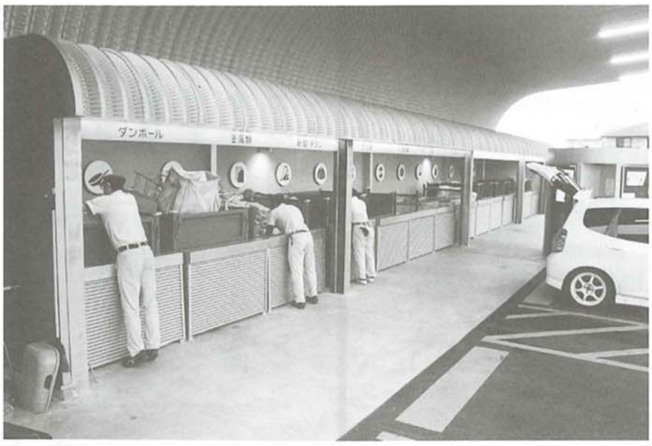
不要金属や家電持ち込み ポイントで日用品と交換

平林金属が回収スポット「えこ便」



平林金属が開設した「えこ便　安倍局」。品目ごとに専用回収ボックスを設けている＝米子市安倍

リサイクル業の平林金属(株)（岡山市北区）が、米子市安倍に、一般家庭で不要となった小型家電や金属類などの有人回収施設「えこ便安倍局」を開設した。持ち込まれた不要品に応じてポイントを付与し、日用品などと交換する仕組み。リサイクルを推進しながら再資源化を図る。

同社は2013年8月に小型家電リサイクル法の認定業者となった。「えこ便」は全国初の有人回収システムで、15年7月に岡山市内にオープンした「西古松局」に続き、安倍局は2カ所目。

開設場所は同社工場跡地の約892平方メートル。回収の対象は「金属類」「小型家電」「空き缶」「アルミ缶」「ざつ紙」「段ボール」「古着」「新聞」の8品目で、品目ごとに屋根付きの専用回収ボックス「eポスト」を設けている。持ち込む人は会員登録し、初回にポイントカードを作製。常駐する従業員が手伝い、ボックス内の計測器で持ち込み品の重さを量り、ポイントを加算する。

ポイントは1キロ当たり、アルミ缶が70ポイント、金属が5ポイント、小型家電とざつ紙が2ポイントなど。ポイントに応じてキッチンペーパーやオリジナルクリアファイル、近隣スーパーの商品券などと交換する。事業所からの廃棄物は対象外。回収品は同社の工場で再資源化し、素材メーカーに販売する。

安倍局では9月28日現在、約3千人が会員登録しており、1日当たり約2トンの持ち込みがあるという。毎月50トンの回収を目指す。

営業時間は水～金曜日が午前9時～午後7時、土、日曜日と祝日は午前9時～午後5時。月、火曜日は定休。

（堀江玄）

2016年10月4日発行の週刊山陰経済ウイークリーに掲載されました。
（山陰中央新報社より許可を得て掲載しています）